

# あいちの母子保健ニュース

平成14年1月から4月にかけて、ご報告いただいた健診情報を母子健康診査マニュアル専門委員会でまとめましたので、ご報告します。

今後の母子保健事業の参考にしてください。

## 医科編

### 1 第一次情報(平成13年度健診分)

各健診とも受診率は、平成11、12、13年と徐々に伸びてきています。

乳幼児健診は、多くの対象の方と関わることのできる大切な機会です。健診をより充実したものにしていくために引き続き努力していただければと思います。

#### <3~4か月児健診>(表1、図1,2)

受診児全体をみると、東三河北部で受診率が高く、また「問題なし」の割合も高くなっています。

疾病分類では、「要指導」をみると、尾張北部が高く、西三河北部が低くなっています。

「要観察」をみると、西三河北部が高く東三河北部が低くなっています。また、保育・家庭環境分類では、東三河南部に「要指導」「要観察」の割合が高くなっています。

#### <1歳6か月児健診>(表2、図3,4)

受診児全体をみると、東三河北部、海部津島に「問題なし」の割合が高くなっています。

疾病分類では、「要指導」が尾張北部で高く、西三河北部が低くなっています。

「要観察」では、西三河南部が高く、東三河北部が低くなっています。また、保育・家庭環境分類では、東三河南部に「要指導」「要観察」の割合が高くなっています。

#### <3歳児健診>(表3、図5,6)

受診児全体をみると、東三河北部、西三河北部に「問題なし」の割合が高くなっています。

疾病分類では、「要指導」が西三河南部が高く、西三河北部が低くなっています。

「要観察」をみると、尾張北部が高く、西三河南部が低くなっています。また、保育・家庭環境分類では、東三河南部に「要指導」「要観察」の割合が高くなっています。

#### <疾病分類>(表1-1、表2-1、表3-1)

3~4か月児健診、1歳6か月児健診とも「問題なし」がやや減ってきていますが、3歳児健診では、「問題なし」がやや増加してきています。しかし、地区によるバラツキが大きいため、フォローアップになるか否かの基準づくりが、今後の課題ではないかと考えます。

#### <保育・家庭環境分類>(表1-2、表2-2、表3-1、図7~9)

各健診とも「要観察」の割合が上がってきています。「要指導」「要観察」の内容をみてみますと、育児能力、家族関係の問題が高率を占めています。特に3~4か月児健診での育児能力の問題が多くなっています。

健診は、児童虐待の予防や発見の意味合いがあるとともに、保護者が子育てに自信を持って帰ることができる良い機会となっているのではないかと思います。

育児能力、家族関係等が問題とされる保護者支援として、育児不安の解消と母親のSOS等を読み取る力を身につける必要があると思います。保育・家庭環境問題をひとつずつ解決

していくことで、安心して子育てができる環境づくりに役立っていくと思います。

また、健診だけで問題の発見をするのは無理な面が多いと思いますので、地域での子育て支援体制の確立に努めていくことが必要だと思います。(文責 豊山町 田中)

表1-1 3～4か月児健診(疾病分類)年次比較

年度	対象者数	受診者数	受診結果							
			問題なし	疾病分類					計	再掲 (実人数)
				要指導	要観察	要精検	要医療	要継続医療		
11	45,667	43,139	28,361	6,866	4,308	1,041	309	2,004	14,528	12,588
		94.5	65.7	15.9	10.0	2.4	0.7	4.6	33.7	29.2
12	46,415	44,388	29,211	7,213	4,262	1,086	259	2,119	14,939	12,850
		95.6	65.8	16.2	9.6	2.4	0.6	4.8	33.7	28.9
13	45,772	44,086	28,570	7,344	4,422	1,162	242	2,020	15,190	12,681
		96.3	64.8	16.7	10.0	2.6	0.5	4.6	34.5	28.8

表1-2 3～4か月児健診(保育・家庭環境分類)年次比較

年度	対象者数	受診者数	受診結果					計	再掲 (実人数)
			問題なし	保育・家庭環境分類					
				要指導	要観察	要措置 (要管理) 等			
11	45,667	43,139	28,361	2,496	287	1	2,784	2,729	
		94.5	65.7	5.8	0.7	0.0	6.5	6.3	
12	46,415	44,388	29,211	2,590	391	2	2,983	2,872	
		95.6	65.8	5.8	0.9	0.0	6.7	6.5	
13	45,772	44,086	28,570	2,764	581	2	3,347	3,207	
		96.3	64.8	6.3	1.3	0.0	7.6	7.3	

表2-1 1歳6か月児健診(疾病分類)年次比較

年度	対象者数	受診者数	受診結果							
			問題なし	疾病分類					計	再掲 (実人数)
				要指導	要観察	要精検	要医療	要継続医療		
11	45,419	43,326	24,490	5,722	8,865	641	160	1,768	17,156	14,582
		95.4	56.5	13.2	20.5	1.5	0.4	4.1	39.6	33.7
12	45,750	43,636	24,849	5,893	9,109	613	99	1,783	17,497	14,737
		95.4	56.9	13.5	20.9	1.4	0.2	4.1	40.1	33.8
13	46,231	44,187	24,578	6,207	9,481	641	101	1,729	18,159	15,371
		95.6	55.6	14.0	21.5	1.5	0.2	3.9	41.1	34.8

表2-2 1歳6か月児健診(保育・家庭環境分類)年次比較

年度	対象者数	受診者数	受診結果					計	再掲 (実人数)
			問題なし	保育・家庭環境分類					
				要指導	要観察	要措置 (要管理) 等			
11	45,419	43,326	24,490	5,012	746	2	5,760	5,542	
		95.4	56.5	11.6	1.7	0.0	13.3	12.8	
12	45,750	43,636	24,849	4,760	799	3	5,562	5,173	
		95.4	56.9	10.9	1.8	0.0	12.7	11.9	
13	46,231	44,187	24,578	5,217	1,091	2	6,310	5,844	
		95.6	55.6	11.8	2.5	0.0	14.3	13.2	

注1 受診者数の下段は受診率

注2 受診結果の下段は受診者に対する割合

注3 名古屋市、豊橋市、豊田市は除く

表3-1 3歳児健診(疾病分類)年次比較

年度	対象者数	受診者数	受診結果							
			問題なし	疾病分類					計	再掲 (実人数)
				要指導	要観察	要精検	要医療	要継続医療		
11	44,735	41,779	20,079	7,755	14,340	3,668	116	1,571	27,450	19,494
			93.4	48.1	18.6	34.3	8.8	0.3	3.8	65.7
12	45,228	42,077	20,372	7,223	14,882	3,450	78	1,628	27,261	19,395
			93.0	48.4	17.2	35.4	8.2	0.2	3.9	64.8
13	46,391	43,367	21,184	7,530	15,195	3,439	73	73	26,310	19,618
			93.5	48.8	17.4	35.0	7.9	0.2	0.2	60.7

表3-2 3歳児健診(保育家庭環境分類)年次比較

年度	対象者数	受診者数	受診結果					
			問題なし	保育・家庭環境分類			計	再掲 (実人数)
				要指導	要観察	要措置 (要管理) 等		
11	44,735	41,779	20,079	3,519	513	1	4,033	3,788
			93.4	48.1	8.4	1.2	0.0	9.7
12	45,228	42,077	20,372	3,340	586	2	3,928	3,580
			93.0	48.4	7.9	1.4	0.0	9.3
13	46,391	43,367	21,184	3,578	854	5	4,437	4,003
			93.5	48.8	8.3	2.0	0.0	10.2

注1 受診者数の下段は受診率  
 注2 受診結果の下段は受診者に対する割合  
 注3 名古屋、豊橋、豊田は除く

図1 3～4か月児健診受診結果(疾病分類)

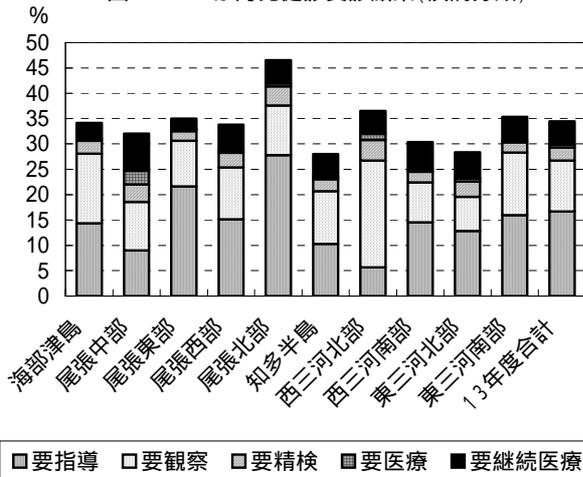


図2 3～4か月児健診受診結果(保育・家庭環境分類)

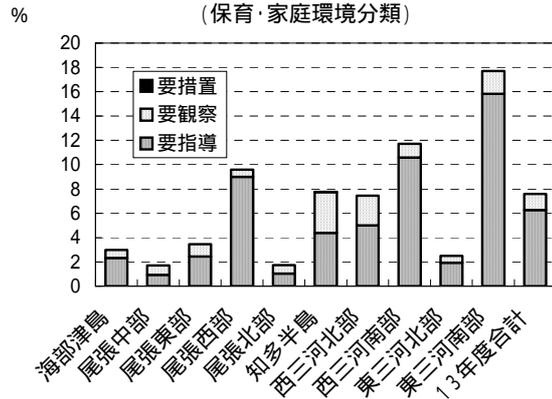


図3 1歳6か月児健診受診結果(疾病分類)

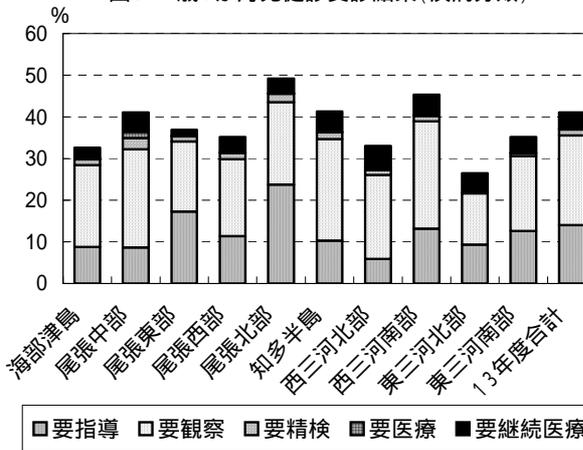


図4 1歳6か月児健診受診結果(保育・家庭環境分類)

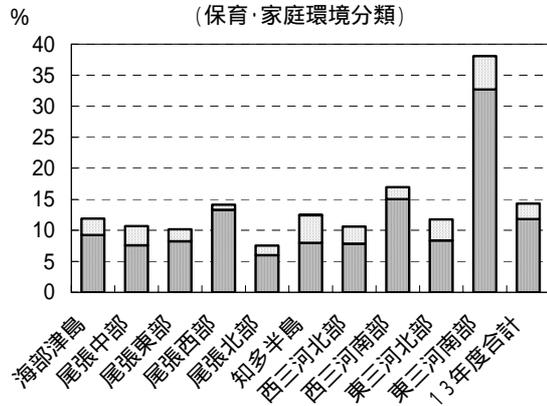


図5 3歳児健診受診結果(疾病分類)

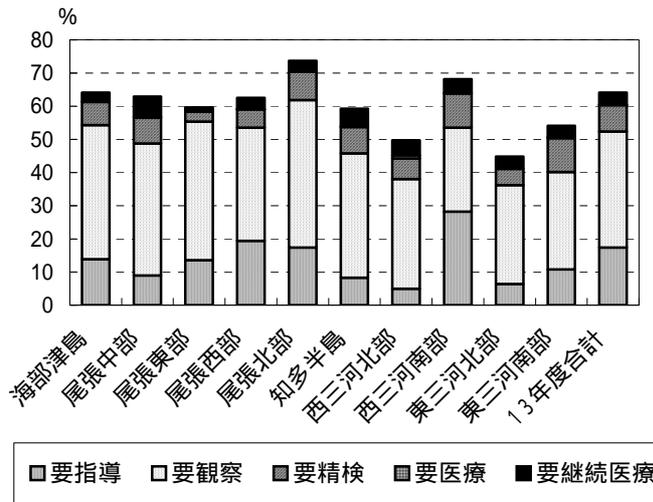


図6 3歳児健診受診結果(保育・家庭環境分類)

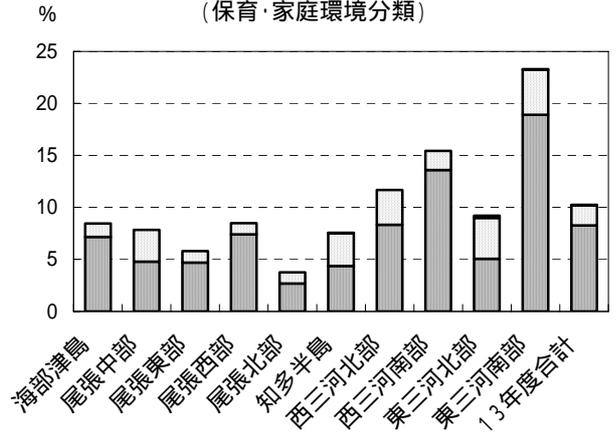


図7 家庭環境問題(要指導・要観察)の割合(3~4か月児健診)

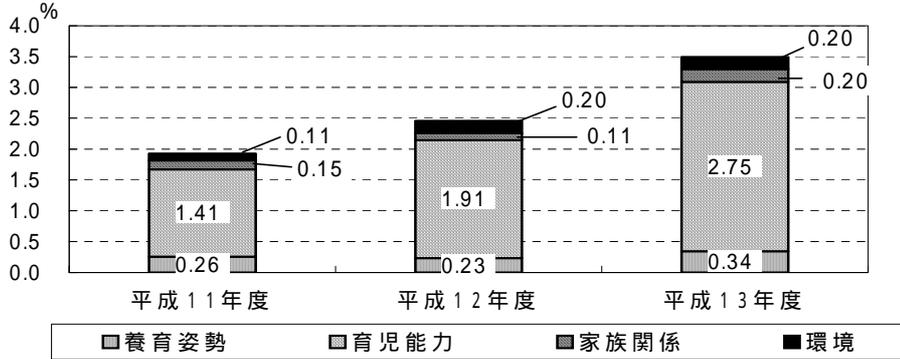


図8 家庭環境(要指導・要観察)の割合(1歳6か月児健診)

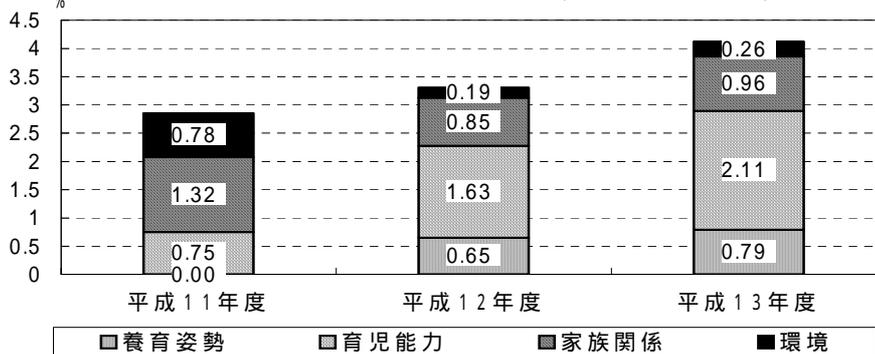
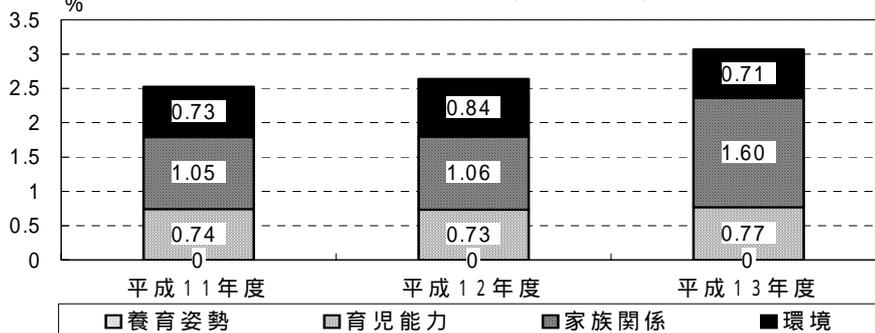


図9 家庭環境(要指導・要観察)(3歳児健診)



## 2 第二次情報(平成12年度健診分)

## &lt;疾病分類&gt;(表4~6、図10、12、14、16~18)

追跡対象者の割合をみると、3~4か月児健診では17.4%、1歳6か月児健診では26.6%、3歳児健診では47.6%と年齢が上がると増加しています。

医療圏別に追跡対象者の割合を見ると、3~4か月児健診では西三河北部、1歳6か月児健診では知多半島、3歳児健診では尾張北部に高い傾向が見られます。なぜ高いのか、地域でご検討をお願いします。

追跡結果の内容は、3~4か月児健診では骨・関節疾患、循環器疾患、皮膚疾患、栄養発育、神経・運動、1歳6か月児健診では精神発達、3歳児健診では眼科疾患が多く、耳鼻咽喉疾患、精神発達障害がついで多く見られます。3歳児健診では眼科疾患(視力検査)の保留率が高くなっています。

## &lt;保育家庭環境分類&gt;(表4~6、図11、13、15)

追跡対象者割合をみると、各健診において地域的ばらつきがあります。3~4か月児健診において知多半島、1歳6か月児健診においては尾張中部、東三河南部、3歳児健診においては、知多半島、東三河南部において多く見られました。追跡対象の要措置と判定された事例が、3~4か月児健診で1例、1歳6か月児健診で3例、3歳児健診で2例ありました。

追跡結果問題ありの割合が各健診において西三河北部に多く見られます。保育家庭環境においては、追跡の結果短期間に改善が見られることは少なく、継続して見守ることにより健全育成につながります。健診・訪問事業などから虐待予防の取り組みも期待されています。

(文責 豊田市 鈴木)

表4 3,4か月児健診追跡結果

保健医療福祉圏域	受診者数 (受診率)	疾病分類								保育・家庭環境分類							
		追跡対象			精密検査実施数	追跡結果				追跡対象			追跡結果				
		要観察	要精検・要医療	計		異常あり	異常なし	保留	その他	要観察	要措置	計	問題あり	問題なし	保留	その他	
海部津島	3,473 96.5	466 13.4	306 8.8	772 22.2	80 2.3	107 3.1	518 14.9	116 3.3	31 0.9	34 1.0	- 0.0	34 1.0	2 0.1	14 0.4	17 0.5	1 0.0	
尾張中部	1,544 93.2	118 7.6	220 14.2	338 21.9	41 2.7	74 4.8	193 12.5	41 2.7	30 1.9	6 0.4	- 0.0	6 0.4	2 0.1	2 0.1	2 0.1	- 0.0	
尾張東部	4,457 95.4	444 10.0	205 4.6	649 14.6	68 1.5	53 1.2	487 10.9	73 1.6	26 0.6	15 0.3	- 0.0	15 0.3	- 0.0	7 0.2	6 0.1	2 0.0	
尾張西部	5,022 93.5	444 8.8	336 6.7	780 15.5	84 1.7	169 3.4	542 10.8	57 1.1	12 0.2	26 0.5	- 0.0	26 0.5	1 0.0	17 0.3	7 0.1	1 0.0	
尾張北部	7,559 93.3	740 9.8	650 8.6	1,390 18.4	245 3.2	299 4.0	814 10.8	248 3.3	29 0.4	49 0.6	- 0.0	49 0.6	1 0.0	30 0.4	16 0.2	2 0.0	
知多半島	6,158 97.6	596 9.7	493 8.0	1,089 17.7	121 2.0	181 2.9	711 11.5	159 2.6	38 0.6	132 2.1	- 0.0	132 2.1	5 0.1	64 1.0	58 0.9	5 0.1	
西三河北部	978 93.5	195 19.9	102 10.4	297 30.4	16 1.6	45 4.6	243 24.8	3 0.3	6 0.6	12 1.2	- 0.0	12 1.2	4 0.4	7 0.7	- 0.0	1 0.1	
西三河南部	11,565 97.4	846 7.3	913 7.9	1,759 15.2	187 1.6	453 3.9	919 7.9	255 2.2	132 1.1	70 0.6	1 0.0	71 0.6	- 0.0	27 0.2	40 0.3	4 0.0	
東三河北部	508 94.8	37 7.3	50 9.8	87 17.1	6 1.2	17 3.3	38 7.5	28 5.5	4 0.8	1 0.2	- 0.0	1 0.2	1 0.2	- 0.0	- 0.0	- 0.0	
東三河南部	3,128 95.5	377 12.1	194 6.2	571 18.3	40 1.3	93 3.0	402 12.9	61 2.0	15 0.5	43 1.4	- 0.0	43 1.4	- 0.0	28 0.9	12 0.4	3 0.1	
合計	44,392 95.6	4,263 9.6	3,469 7.8	7,732 17.4	888 2.0	1,491 3.4	4,867 11.0	1,041 2.3	323 0.7	388 0.9	1 0.0	389 0.9	16 0.0	196 0.4	158 0.4	19 0.0	

表5 1歳6か月児健診追跡結果

保健医療福祉圏域	受診者数 (受診率)	疾病分類								保育・家庭環境分類						
		追跡対象			精密検査実施数	追跡結果				追跡対象			追跡結果			
		要観察	要精検・要医療	計		異常あり	異常なし	保留	その他	要観察	要措置	計	問題あり	問題なし	保留	その他
海部津島	3,433 94.3	681 19.8	173 5.0	854 24.9	42 1.2	90 2.6	433 12.6	304 8.9	27 0.8	77 2.2	1 0.0	78 2.3	4 0.1	26 0.8	42 1.2	6 0.2
尾張中部	1,540 94.4	239 15.5	151 9.8	390 25.3	21 0.0	53 1.5	117 7.6	161 10.5	59 3.8	49 3.2	- 0.0	49 3.2	4 0.3	20 1.3	19 1.2	6 0.4
尾張東部	4,465 95.7	772 17.3	142 3.2	914 20.5	30 0.0	86 2.5	509 11.4	266 6.0	53 1.2	72 1.6	- 0.0	72 1.6	2 0.0	39 0.9	26 0.6	5 0.1
尾張西部	4,865 92.7	897 18.4	266 5.5	1,163 23.9	67 0.0	156 4.5	565 11.6	393 8.1	49 1.0	42 0.9	- 0.0	42 0.9	- 0.0	22 0.5	20 0.4	- 0.0
尾張北部	7,186 93.6	1,342 18.7	415 5.8	1,757 24.5	116 0.0	228 6.6	685 9.5	765 10.6	79 1.1	64 0.9	- 0.0	64 0.9	2 0.0	20 0.3	37 0.5	5 0.1
知多半島	5,992 97.2	1,634 27.3	437 7.3	2,071 34.6	93 0.0	226 6.6	931 15.5	822 13.7	152 2.5	172 2.9	2 0.0	174 2.9	9 0.2	75 1.3	78 1.3	12 0.2
西三河北部	1,072 98.3	204 19.0	78 7.3	282 26.3	11 0.0	95 2.8	150 4.0	30 0.7	7 1.5	16 0.0	- 0.0	16 0.5	7 0.7	8 0.7	1 0.1	- 0.0
西三河南部	11,471 96.8	2,718 23.7	652 5.7	3,370 29.4	73 0.0	367 10.7	1,219 10.6	1,628 14.2	157 1.4	149 1.3	- 0.0	149 1.3	- 0.0	49 0.4	92 0.8	8 0.1
東三河北部	503 99.6	79 15.7	42 8.3	121 24.1	2 0.0	11 0.3	41 8.2	62 12.3	7 1.4	12 2.4	- 0.0	12 2.4	1 0.2	3 0.6	6 1.2	2 0.4
東三河南部	3,089 95.1	528 17.1	137 4.4	665 21.5	30 0.0	56 1.6	301 9.7	281 9.1	27 0.9	147 4.8	- 0.0	147 4.8	1 0.0	56 1.8	82 2.7	8 0.3
合計	43,616 95.4	9,094 20.9	2,493 5.7	11,587 26.6	485 0.0	1,368 3.9	4,951 11.4	4,712 10.8	617 1.4	800 1.8	3 0.0	803 1.8	30 0.1	318 0.7	403 0.9	52 0.1

表6 3歳児健診追跡結果

保健医療福祉圏域	受診者数 (受診率)	疾病分類								保育・家庭環境分類						
		追跡対象			精密検査実施数	追跡結果				追跡対象			追跡結果			
		要観察	要精検・要医療	計		異常あり	異常なし	保留	その他	要観察	要措置	計	問題あり	問題なし	保留	その他
海部津島	3,147 91.9	1,347 42.8	329 10.5	1,676 53.3	180 5.7	143 4.5	813 25.8	659 20.9	51 1.6	56 1.8	- 0.0	56 1.8	2 0.1	31 1.0	16 0.5	7 0.2
尾張中部	1,455 92.7	514 35.3	246 16.9	760 52.2	122 8.4	108 7.4	303 20.8	268 18.4	72 4.9	16 1.1	- 0.0	16 1.1	1 0.1	9 0.6	5 0.3	1 0.1
尾張東部	4,250 92.9	1,734 40.8	217 5.1	1,951 45.9	130 3.1	121 2.8	844 19.9	793 18.7	193 4.5	38 0.9	- 0.0	38 0.9	4 0.1	18 0.4	14 0.3	2 0.0
尾張西部	4,846 90.4	1,597 33.0	449 9.3	2,046 42.2	219 4.5	243 5.0	1,431 29.5	282 5.8	90 1.9	32 0.7	- 0.0	32 0.7	2 0.0	18 0.4	10 0.2	2 0.0
尾張北部	6,888 91.9	3,304 48.0	821 11.9	4,125 59.9	579 8.4	417 6.1	1,898 27.6	1,697 24.6	113 1.6	66 1.0	- 0.0	66 1.0	1 0.0	28 0.4	35 0.5	2 0.0
知多半島	5,599 94.6	2,085 37.2	798 14.3	2,883 51.5	372 6.6	336 6.0	1,726 30.8	690 12.3	131 2.3	136 2.4	2 0.0	138 2.5	7 0.1	87 1.6	38 0.7	6 0.1
西三河北部	1,060 95.5	382 36.0	156 14.7	538 50.8	86 8.1	108 10.2	339 32.0	75 7.1	16 1.5	18 1.7	- 0.0	18 1.7	4 0.4	13 1.2	1 0.1	- 0.0
西三河南部	10,911 95.3	2,691 24.7	1,577 14.5	4,268 39.1	993 9.1	624 5.7	2,140 19.6	1,267 11.6	237 2.2	98 0.9	- 0.0	98 0.9	- 0.0	44 0.4	47 0.4	7 0.1
東三河北部	591 98.3	166 28.1	60 10.2	226 38.2	26 4.4	26 4.4	123 20.8	68 11.5	9 1.5	4 0.7	- 0.0	4 0.7	3 0.5	1 0.2	- 0.0	- 0.0
東三河南部	3,039 91.5	949 31.2	451 14.8	1,400 46.1	301 9.9	240 7.9	850 28.0	276 9.1	34 1.1	107 3.5	- 0.0	107 3.5	- 0.0	65 2.1	40 1.3	2 0.1
合計	41,786 93.2	14,769 35.3	5,104 12.2	19,873 47.6	3,008 7.2	2,366 5.7	10,467 25.0	6,075 14.5	946 2.3	571 1.4	2 0.0	573 1.4	24 0.1	314 0.8	206 0.5	29 0.1

注1 下段は受診者に対する割合  
注2 名古屋、豊橋、豊田は除く

図10 3～4か月児健診第二次情報 (疾病分類)

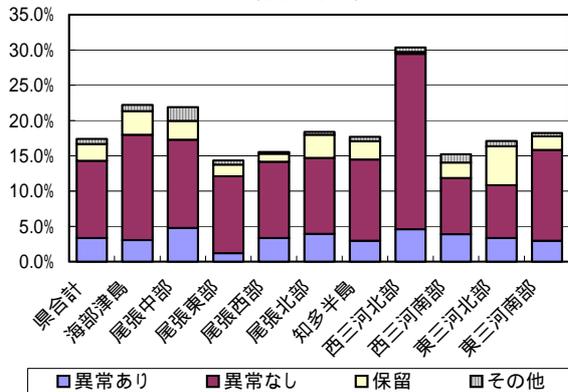


図11 3～4か月児健診第二次情報 (保育家庭環境分類)

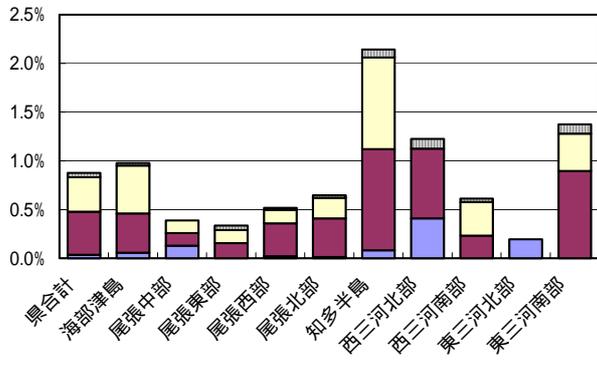


図12 1歳6か月児健診第二次情報 (疾病分類)

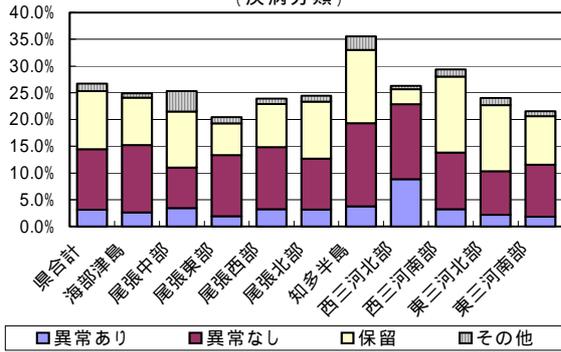


図13 1歳6か月児健診第二次情報 (保育家庭環境分類)

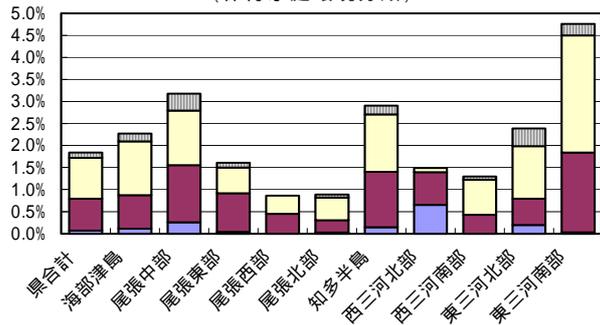


図14 3歳児健診第二次情報 (疾病分類)

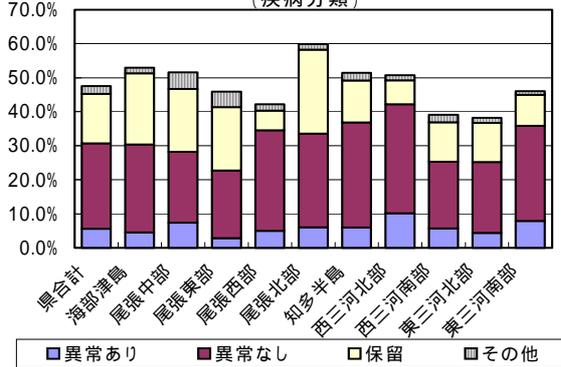


図15 3歳児健診第二次情報 (保育家庭環境分類)

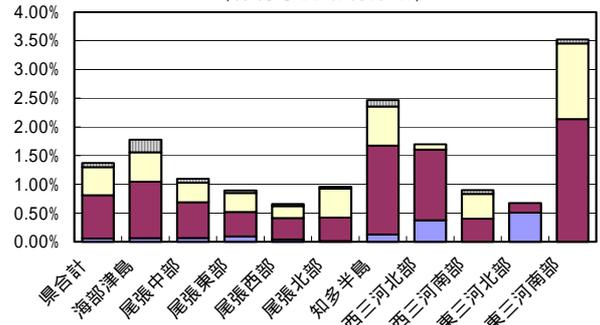


図16 3~4か月児健診問題別追跡結果 (%)

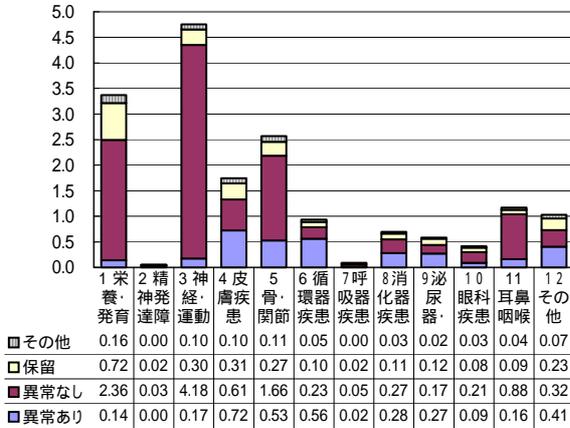


図17 1歳6か月児健診問題別追跡結果 (%)

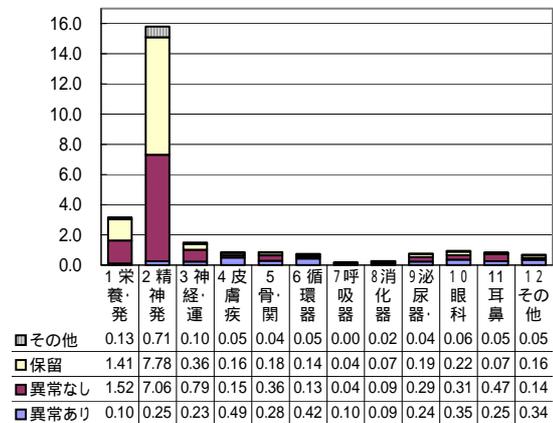
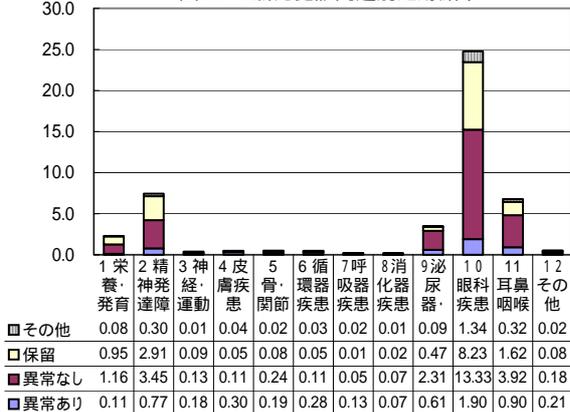


図18 3歳児健診問題別追跡結果 (%)



**歯科編**

**1 歯科健康診査および保育・口腔環境分類の結果から**

1歳6か月児健康診査のう蝕のない児の内訳を医療圏ごとに比較したものが図1です。ここでは特にO2の要指導・要観察の割合について非常に大きな差があります。そこで、保育・口腔環境分類の要指導・要観察を篩い分けする問診項目別の比較を医療圏単位で行ってみました(図2)。

図1 1歳6か月児歯科健康診査のう蝕のない者の内訳

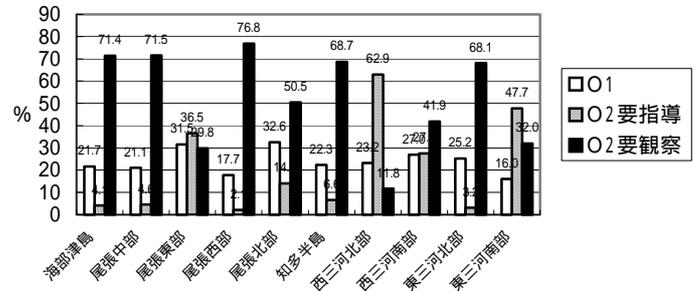


図2-1 A医療圏の場合

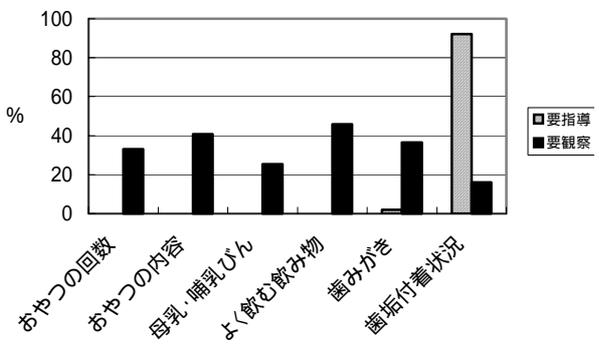
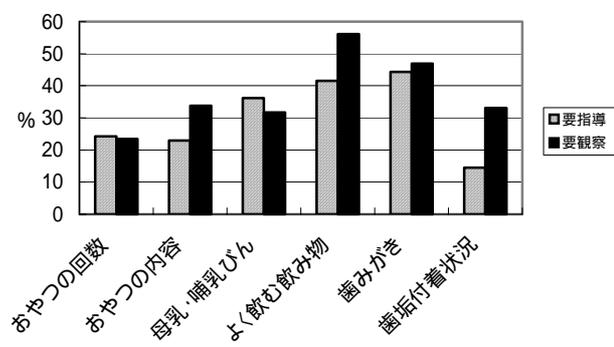


図2-2 B医療圏の場合



この2つの医療圏で比較してみると、市町村が独自の基準を設けて要指導の児を篩い分けしていることがわかります。要指導の判定基準は、原則、口腔環境の歯垢付着状態のみ該当となっておりますが、地域の実情に応じ独自の判定基準を設けることも可、としています。「要指導」「要観察」の区分は、追跡観察を実施するための篩い分けですから、実効性のある判定基準であるかどうかをオッズ比を用いて探る方法等で吟味するなど、各医療圏において、判定基準の再確認をお願いします。

次に、3歳児歯科健康診査の結果からう蝕についてみてみました。図3と図4を比較してみると、一人平均う蝕数は少なくともう蝕経験者一人平均う蝕数が多い医療圏があります。う蝕の多い児を分析し、1歳6か月時点からの重点的なフォローが必要です。

図3 3歳児一人平均う蝕数

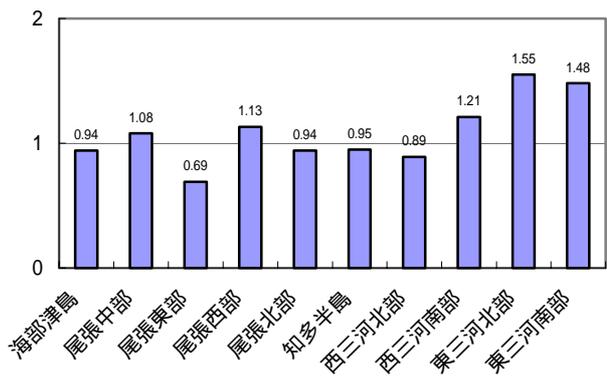
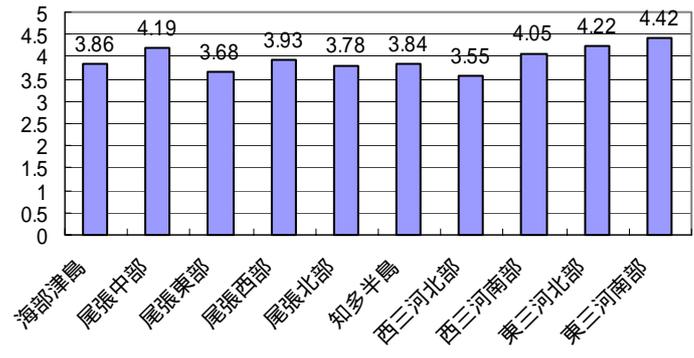


図4 3歳児う蝕経験者一人平均う蝕数



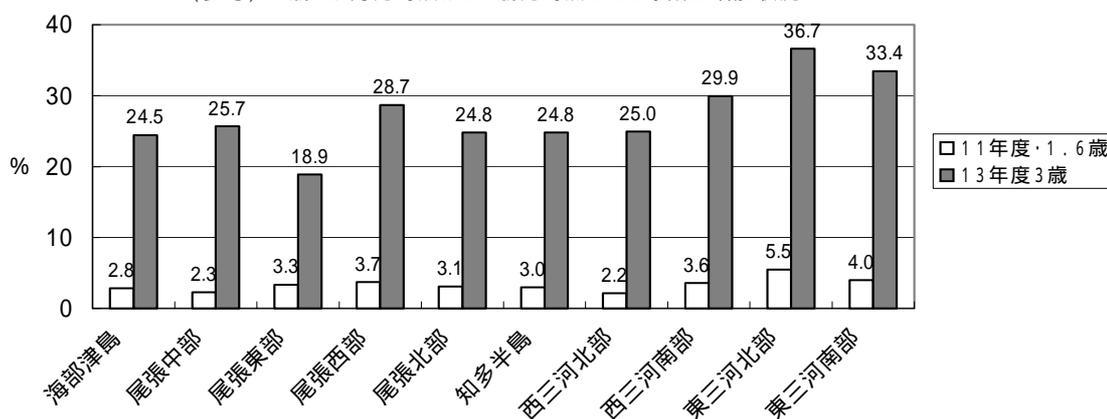
## 2 3歳児健康診査における1歳6か月児健康診査の追跡結果から

1歳6か月健康診査時の判定区分 O<sub>1</sub>の児は、本来であればう蝕になる可能性が少ないはずですが、3歳児健康診査時にう蝕発生が多くなっている医療圏が見られます(表1)。O<sub>1</sub>の判定基準についての見直しが必要かと思われます。この見直しについては、1歳6か月健康診査時の O<sub>1</sub>区分の判断基準としている項目ごとに、オッズ比を用いてリスク項目を探るなど、市町村ごとに検討しなければなりません。また、1歳6か月健康診査時の判定区分 O<sub>2</sub>の児は1歳6か月の時点でう蝕発生の予測がたてられているわけですから、各市町村において、判定区分 O<sub>2</sub>児への積極的な対応を期待します。特に3歳児健康診査時にう蝕発生が多くなっている医療圏は O<sub>2</sub>の児に対するフォローの強化を検討していただきたいと思います。既存のデータを用いる場合は、正確な意味でのう蝕増加状況の比較検討はできませんが、参考までに、11年度1歳6か月児う蝕経験者率と平成13年度3歳児う蝕経験者率を比較したグラフを図に示します。(文責 安城支所 平井)

表1 1歳6か月児健康診査時う蝕なしの児の追跡結果

医療圏名	O1					O2									
	問題なし					要指導					要観察				
	O	A	B	C1	C2	O	A	B	C1	C2	O	A	B	C1	C2
海部津島	87.9	9.8	1.4	0.0	0.9	83.3	12.6	3.5	0.0	0.6	73.3	19.3	6.4	0.1	0.9
尾張中部	85.4	9.8	3.7	0.4	0.8	69.1	23.7	4.1	0.0	3.1	76.2	16.2	5.5	0.1	2.0
尾張東部	87.7	10.0	1.8	0.2	0.3	79.4	14.8	4.5	0.2	1.1	80.1	14.1	4.7	0.3	0.8
尾張西部	83.6	12.9	3.0	0.0	0.5	72.1	20.4	5.5	0.5	1.5	70.8	18.8	8.0	0.3	2.1
尾張北部	84.6	11.3	2.9	0.4	0.9	79.9	14.5	4.4	0.3	0.9	73.2	17.8	6.8	0.4	1.8
知多半島	87.0	10.2	2.0	0.1	0.6	75.0	16.1	7.5	0.0	3.2	74.3	17.4	6.5	0.2	1.5
西三河北部	83.0	14.1	1.7	0.3	0.9	76.1	15.9	5.4	0.4	2.1	63.9	23.1	9.6	0.7	2.7
西三河南部	81.5	13.7	3.8	0.2	0.8	65.6	22.6	9.4	0.2	2.3	72.0	18.6	7.9	0.2	1.5
東三河北部	70.6	20.6	7.1	0.8	0.8	60.7	32.1	3.6	0.0	3.6	67.0	23.8	7.8	0.0	1.4
東三河南部	81.2	14.0	3.3	0.7	0.9	71.6	17.8	8.8	0.2	1.7	64.8	21.6	11.6	0.1	2.1

(参考) 1歳6か月児時点から3歳児時点までのう蝕の増加状況



## 母子保健計画の指標としてのマニュアルの活用について

児童家庭課

平成9年度から実施してきた母子保健計画も平成13年度見直しの時期を向かえ、各市町村では様々な手法を用い、見直し策定に取り組んで見えたと思います。さて、皆さんは、母子健康診査マニュアルをどのように活用されましたか？ここでマニュアルの集計結果を母子保健指標として活用する一考を紹介します。

### < マニュアル情報の活用 >

目的	意義
現状・実態の把握	地域母子保健におけるリスクマネジメント機能 乳幼児健診の精度管理
母子保健事業の目標設定	具体的目標の共有
母子保健事業の効果判定	一貫した乳幼児健診の効果 保健事業間の効果的な連携
判定基準の設定、標準化	健診事後管理の充実 地域特性の把握
新規事業の企画立案	母子保健計画の応用 事業の整理

\* 公衆衛生 Vol.61 No.4 1997年4月 特集検診を検診する「乳幼児健診の意義の変遷」抜粋

母子健康診査マニュアルは、乳幼児健診の健診の適正化、事後管理等を示唆するものとして作られ、それに基づき集計された結果により、各地域の健診精度を管理するものとして活用されてきました。また、母子保健計画見直し策定に当たっては、健診受診率、要追跡者率、発見された異常の割合など、資料としても活用されていると思います。

現在、提出していただいた母子保健計画の中の評価指標には、受診率の指標はあっても具体的な数値の活用はみられません。

では、母子保健の評価指標としてどのように活用したらよいか考えてみましょう。

平成11年度より、集計の形式が見直され、保育家庭環境分類として、母子を取り巻く環境の問題が数値で抽出できるようになりました。この保育家庭環境問題をどう評価指標とするか、例えば、3、4か月児健診で「授乳についての不安が強い母親が多い」と思われた時、保育家庭環境分類の「哺乳」で拾って、本当に多いか確認します。それをベースラインにし、健診の問診の結果を確実に記録し集計することで課題の抽出になるのではないのでしょうか。現状を数値で確認したら、目標値の設定ができます。

あるべき母親の姿を「授乳に不安なく子育てができる」とします。そうした目標に向け、各種事業を実施し、その効果判定をマニュアルの数値の変化で追ってはどうか。

こういったことは目標の達成だけでなく、追跡が必要な母子の基準の共有となり、健診精度管理につながると考えます。

県内で突出した数値になっても理由が明らかであればよいと考えます。

地域には、種々の既存の資料があふれています。既存のものから見る地域、新たな調査は必要でしょうか。

ある保健師の話「健診のカルテから多くの情報が得られるはず、情報が得られないなら、それはなぜか。日々の保健師活動の評価になる。」との苦言。

同じことが母子健康診査マニュアルにも言えると思います。

なぜ指標として有効ではないのか？活用できないのか？どう活用するか、一度、地域で考えてみませんか。

会にも取り上げ、関わり方、方針、役割を確認していきました。

その後、母子はサークルへの参加を通して自信をつけていったようです。父は、イライラすることもありました。手をあげないように気をつけていくことが増えていきました。育児にも少しずつ参加し、Aくんも遊びを求めようになりました。

現在、Aくんは保育園に通園しています。今でもどことなく不安なお母さんですが、担任の先生との関係もでき、Aくんは表情良く遊んでいます。休日には、児童センターへ親子で遊びに行ったり、サークルの仲間や児童センターの職員との交流も続いています。

### 事例2「乳幼児健診の関わりから」

蒲都市保健センター 中村美奈栄

A市より転入、転入先の保健師より、生活リズムの乱れと関わりにくさがあり3歳児健診で確認して欲しいと依頼があった。

健診は母と児二人で来所された。

問診の場面では、子どもは視線を合わせ、質問に答えることはできるが、表情が乏しく幼い印象であった。また、生活習慣の乱れが目立っていた。母は地元の人ではなく、最近同居したことから、同居のストレスも抱えている印象であった。

待ち時間や計測場面では、子どもが泣くと母が厳しい表情になり、泣くことを責め、感情的にたたくななどの問題行動がみられたため、スタッフが子どもを預かり、一時的に母と離す等の対応をした。

心理相談にて、発達の確認をしたところ、発達の遅れはないが、理解するのに少し時間がかかることであった。母には、児の良い所を見るように、児の特徴をよく理解してあげることを伝え、生活リズムの改善と母自身も自分の世界を持つようにとアドバイスされた。

健診終了時、母はとても柔らかな表情となり帰宅された。

健診のカンファレンスで、母親の養育姿勢及び育児不安、子どもの情緒不安の面でフォローが必要であり、母親の応援団になっていくため、関係機関と連携を図り、この親子を継続フォローしていく方針となった。

その後、児の入園先の幼稚園にケース連絡を行い、児の発達の特徴を伝え、園でも児のペースに合わせて関わっていただくことや、母への援助として、母の不安を軽減できるよう、児の良い所をできるだけ伝え、支えていこうと意思統一をはかった。

半年毎に保健師は親子面接を行っている。父親自身も子どもの頃、児に似た特徴があり、子どもを理解してもらうことができた。母自身も仕事を持ち、職場の人や児の友達の母親たちと交流を持つことで、精神的にゆとりをもって子どもと関わられるようになってきたようであった。母より、児が泣くと母が怒るため、「ママ怖い・・・」と児が言うとのことであるが、母を求める姿やじっくりと遊びに取り組める姿などから、児も情緒的に安定してきた様子が伺えた。母より、「幼稚園でも子どものことをよく理解してみてもらっているから安心です。」と話があり、園ともよい関係もできていると思われたため、フォローを終了し、母から相談があった時に対応していくこととなった。

(マニュアルの項目 養育姿勢、育児能力、精神その他)

市町村における母子保健計画の見直し状況について  
児童家庭課

平成13年度までに計画の見直しを終えた県内市町村は47か所で全体の半数程度ですが、本年度中の見直しを予定している市町村を含めると、78か所と約9割が平成14年度までに見直しを終えることになります。

今回の特色としては、平成12年11月に発表された「健やか親子21」の趣旨を踏まえた見直しが求められていたことから、計画提出済みの市町村の約7割において、思春期保健対策が新たに計画に盛り込まれています。

また、地域住民のニーズを計画に反映するために住民意識調査結果等を計画に取り入れている市町村は、3分の2程度です。

今後、県保健所は、まだ計画の見直しをしていない市町村に対して、引き続き「健やか親子21」を考慮した計画の早期策定に協力していくとともに、計画の見直しを終えた市町村に対しては、「母子健康診査マニュアル」に基づいた健診結果のデータ分析、評価情報を活用し、市町村の進行管理を支援し、県全体の母子保健水準の向上を図っていく必要があります。

市町村母子保健計画の見直し状況

(平成14年12月現在)

保健所名	市町村名	計画見直し年度			備考	
		13	14	15以降		
一宮保健所	一宮市					
	尾西市					
	木曽川町					
	稲沢支所	稲沢市				
		祖父江町				
		平和町				
瀬戸保健所	瀬戸市					
	尾張旭市					
	長久手町					
	豊明支所	豊明市				
		日進市				
		東郷町				
春日井保健所	春日井市					
小牧支所	小牧市					
江南保健所	犬山市					
	江南市					
	岩倉市					
	大口町					
	扶桑町					
	師勝保健所	西枇杷島町				
	豊山町					
	師勝町					
	西春町					
	春日町					
	清洲町					
	新川町					
津島保健所	津島市					
	七宝町					
	美和町					
	甚目寺町					
	大治町					
	蟹江町					
	十四山村					
	飛島村					
	弥富町					
	佐屋町					
	立田村					
	八開村					
	佐織町					
	半田保健所	半田市				
	阿久比町					
	東浦町					
	武豊町					
美浜支所	南知多町					
	美浜町					
知多保健所	常滑市					
	東海市					
	大府市					
	知多市					
	岡崎保健所	岡崎市				
		幸田町				
		額田町				
	衣浦東部保健所	碧南市				
		刈谷市				
		高浜市				
安城支所		安城市				
知立市						
西尾保健所	西尾市					
	一色町					
	吉良町					
	幡豆町					
加茂保健所	三好町					
	藤岡町					
	小原村					
	足助支所	足助町				
	下山村					
	旭町					
	稲武町					
新城保健所	新城市					
	鳳来町					
	作手村					
	設楽支所	設楽町				
	東栄町					
	豊根村					
	富山村					
	津具村					
豊川保健所	豊川市				12年度策定	
	音羽町					
	一宮町					
	小坂井町					
	御津町					
	蒲郡支所	蒲郡市				
田原支所	田原町				14年6月策定	
	赤羽根町					
	渥美町				14年5月策定	
名古屋支所	名古屋市					
	豊田市					
	豊橋市					
年度別市町村数		46	31	10	12年度 1	

## 平成14年度 愛知県母子健康診査マニュアル専門委員会委員

(五十音順)

氏名	職名
澁谷 いづみ	知多保健所長
荒川 芳江	春日井保健所小牧支所地域保健課長(保健師)
伊藤 恵美	刈谷市健康課母子保健係主査(保健師)
鵜飼 佳代子	豊川保健所蒲郡支所地域保健課主査(保健師)
宇佐美 毅	半田保健所地域保健課主任主査(歯科医師)
小島 茂義	豊川保健所地域保健課課長補佐(栄養士)
酒井まゆみ	安城市保健福祉部健康課(栄養士)
鈴木久美子	豊橋保健所保健予防課母子保健グループ(保健師)
鈴木 和恵	豊田市社会部子ども課母子保健係係長(保健師)
田中 陽子	豊山町住民課保健予防係係長(保健師)
谷川 隆子	中央児童・障害者相談センター児童相談課主査(保健師)
平井みどり	衣浦東部保健所安城支所地域保健課主査(歯科衛生士)
松浦 里加	小牧市保健センター課母子保健係(歯科衛生士)
三浦 里美	東浦町健康課健康係(保健師)

編集後記 \*桜が咲く前に発行と思っていたら、今や桜は葉桜です。平成14年度は虐待、少年の問題等で当課は大変な一年でした。

虐待対策の予防活動において、母子保健の果たす役割は大きく、皆さんの活躍を応援していきたいと思います。虐待の予防活動の評価にマニュアルを活用できないか皆さんと一緒に考えていききたいと思います。

編集：母子健康診査マニュアル専門委員会  
委員長 澁谷いづみ

事務局：愛知県健康福祉部児童家庭課母子保健グループ  
〒460-8501 名古屋市中区三の丸3-1-2  
電話 052-961-2111(内線3206)